

ICPLJ 8

第8回日本語実用言語学国際会議

THE EIGHTH INTERNATIONAL CONFERENCE
ON PRACTICAL LINGUISTICS OF JAPANESE [ICPLJ8]

日程 2014年3月22日(土)・23日(日)

会場 国立国語研究所(東京都立川市)

3月22日(土)

10:00- 受付開始

10:30- 開会・招待講演

Extended discourse

in first and second language acquisition:

A challenge and an opportunity

第一言語・第二言語習得における「談話」の果たす役割:
その課題と機会

Catherine E. Snow (Harvard University)

司会: 南雅彦

13:10-14:10 ポスター発表 1

15件

14:25-16:05 口頭発表 Session I

- (1) 加納千恵子, 稲葉みどり, 峯布由紀
- (2) Oresta Zaburanna, 范一楠, 佐藤響子
- (3) Cade Bushnell, Paul Ganir,
Nina Azumi Yoshida

16:20-18:00 口頭発表 Session II

- (1) 野山広他, 山岡政紀他, 奥野由紀子
- (2) 安原正貴, 吉村紀子, 田村早苗
- (3) 汪南雁, ウォルピョウ・ガリーナ他, 山森良枝

18:30-20:00 懇親会

3月23日(日)

09:30-11:10 口頭発表 Session III

- (1) 魏娜他, 李在鎭, 宇佐美まゆみ
- (2) 橋本ゆかり, クリクス・サビーネ, 田中真一
- (3) 福永由佳, 下谷麻記他, 副島健作

11:20-12:20 ポスター発表 2

14件

13:45-15:25 口頭発表 Session IV

- (1) Haruko Minegishi Cook,
Mineharu Nakayama他, Margaret Thomas
- (2) 鈴木綾乃, 林洋子他, 堀内仁
- (3) 矢野和歌子, 高森絵美, 歌代崇史

15:40-17:40 パネルセッション

全体テーマ 「コーパスと日本語教育研究」

小林典子 「聞いて理解する過程の解明」

—ディクテーションコーパスのデザイン—

渋谷勝己 「話すことと文法を創り出すこと」

—日本語変種の新たなコーパスを求めて—

野田尚史 「読んで理解する過程の解明」

—読解コーパスの開発—

迫田久美子 「書くことと話すことの違い」

—学習者コーパスに見る言語運用—

17:50-18:00 閉会

国立国語研究所

National Institute for Japanese Language and Linguistics

詳細&問い合わせ: HP:<http://www.ninjal.ac.jp/icplj8/>

